

作業効率や作業性、運用効率を大幅に改善！

快適な作業環境と思い通りに作図できる作業性を実現！

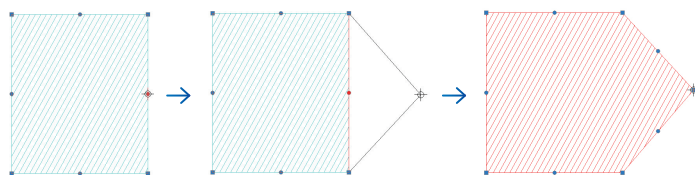
フローティングウィンドウで作業効率40%向上(※当社比)

複数の図面データや同一図面を別ウィンドウで表示できるようになりました。
表示図面の切替や全体確認のための拡大/縮小が不要となります。



ハッチング図形編集機能の拡充

ハッチング図形、塗り図形の端点追加/削除で自由に変形可能になりました。



選択モードで編集したい辺をつかんで

スペースキーで端点追加！
Deleteキーで端点削除も可能です

作業場所を選ばない！

ライセンスの持ち運びが簡単になりました

認証 / 認証解除ツールで「図脳デジタルシート」を利用する PC の切替が簡単になりました。

これにより、従来のインストール可能PC台数制限がなくなり、どのPCでも「図脳デジタルシート」をすぐに利用可能になります。

※ 認証可能台数は1ライセンスにつきPC2台までとなります。

※ 1ライセンスの使用可能人数は1名のみとなります。複数名でのライセンス共有は規約違反となります。

まだまだあります！ NTT様のプラレコ図面に関する業務効率改善機能

Ver11より搭載

iPadに図面を格納して現地調査に活用！ iPad連携機能を新搭載

ペーパーレスによる荷物の軽量化だけでなく、帰社後の作業軽減にも繋がります

STEP1 『図脳RAPID for iPad』にデータ転送

図面データをモバイル形式で出力しiPadに転送すれば、無料アプリ『図脳RAPID for iPad』で閲覧可能になります。

印刷やファイリングの待ち時間を省けるうえ、紙を減らして荷物を軽量化できます。

STEP2 現場踏査、現地調査で役に立つ便利機能

『図脳RAPID for iPad』では閲覧以外にも図面上での計測、調査メモの書き込みなどが可能。長い注記は音声メモで記録できます。iPadのカメラを使って、図面上のポイントを指定して写真を撮ることも可能。

STEP3 現場の調査情報は帰社後に図面に反映 帰社後の作業時間を短縮

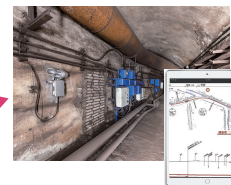
現場で書いたメモや写真をPCに転送すれば、持ち出し前のCAD図面にメモを反映可能です。写真は撮影ポイント別にフォルダ分けしてPCに転送されるので、帰社後に写真を見ながら整理する必要がなくなります。

●『図脳RAPID for iPad』運用シーン

オフィス/事務所



作業現場



客先



調査現場・建設現場



●『図脳RAPID for iPad』動作環境

OS	iOS 12.4以上、iPadOS 13.1以上
デバイス	iPad、iPad Air、iPad Pro(※2017年以降に発売されたiPad)
データ転送	iTunes、Googleドライブ
対応CAD	図脳デジタルシート for NTT Ver.11以上

Ver11 より搭載

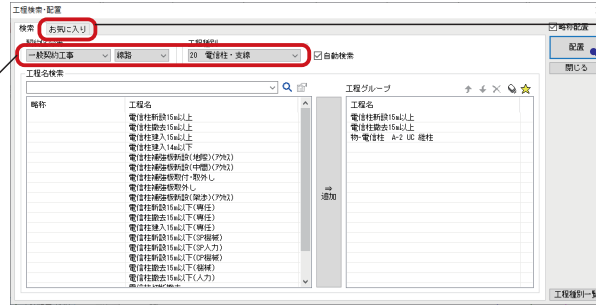
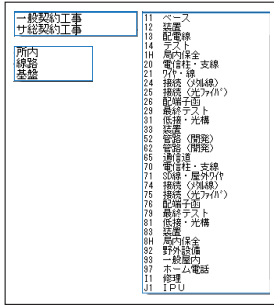
設計図から工程の拾い出しをおこなえる**工程集計機能**を新搭載!

工程集計作業における集計もれ、工程種の選択間違いなどのミス軽減し、より正確な申請を可能にします

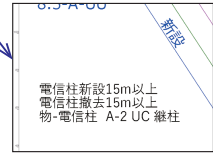
STEP1 設計図を製図する際に、工程名を一覧から選択配置

工程名入力は一覧から工程を選択して図面上に配置。よく使う工程をお気に入り登録したり、キーワード検索することで更に簡単に入力可能です。

絞り込み
▶ 契約区分や工程種から工程名を



よく使用する工程グループはお気に入り登録して何度も利用可能



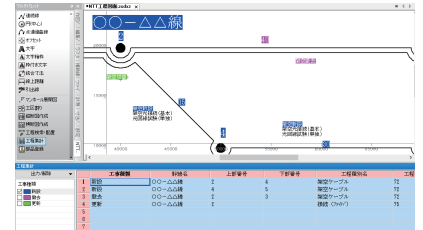
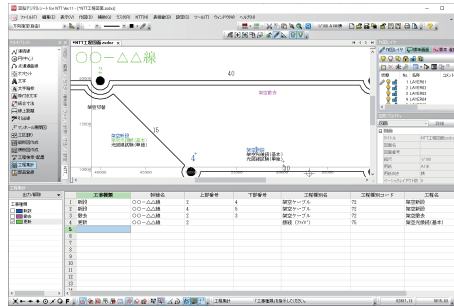
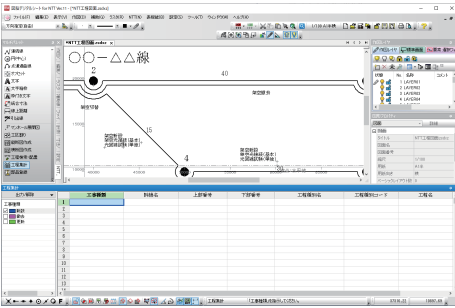
▲ 図面内に文字を転記タイプミスも防げます

STEP2 設計図から工程名をクリックして工程集計

図面内の文字をクリックして幹線名、開始設備番号、終了設備番号、工程名などを集計表に転送します。*

クリックされた文字は色が変わるので、クリック漏れも防げます。

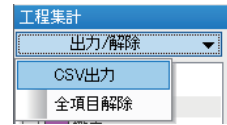
* 表の項目は事前に設定が必要で



集計表をクリックすると図面内の文字がハイライトします。クリック間違いがないか確認できます。

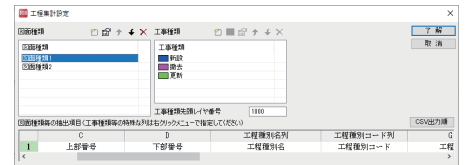
STEP3 表からCSV出力してExcelで活用

図面からの集計が終わったら表の内容をCSVに出力可能。Excelで積算表を作ったり、EDI提出用の諸元として利用できます。



STEP0 表の項目や、工事種類は自社のルールに合わせて設定可能

表の項目名や並び順は、事前に設定しておきます。表の書式は複数登録できるので、一般とサ総で違う項目を設定することももちろん可能です。



Ver11 より搭載

AutoCADの変換性能と再現率をUP

AutoCADのレイアウト空間も再現可能 文字の再現率もUP

最新のAutoCAD2018形式に対応。文字の読み込み方法にAutoCADの文字サイズを優先するモードを組み込み文字の再現率を上げたほか、レイアウト空間を再現できるようになりました。

▶ 『AutoCAD』で作成した文字
文字高さ：5mm



▼ Ver.10までは
サイズが変化

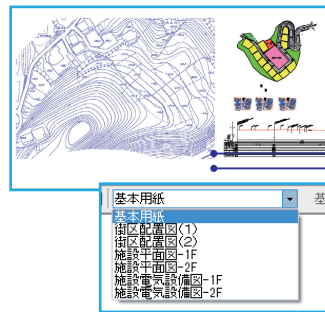


● 文字の再現率

▼ Ver.11では
正しく入力



● レイアウト空間を再現



マルチページPDFの入出力を強化

マルチページのPDFを入力する際にプレビューを確認してページを選択できるようになったほか、出力時に開いているファイルを1つのマルチページPDFに出力するか、複数の1枚のPDFで出力するか選べるようになりました。